○

入會申込書

貴會ノ趣旨ニ贊同シ入會申込候也

昭和　　年　　月　　日

福岡縣　　郡　　市町村

福岡縣親善會御中

印

事務所 福岡縣庶務課内
電話 福岡二五一五一番

○

福岡縣親善會創立會ニ至ル經過

融和促進ニ關シテハ現下社會ノ情勢ニ鑑ミ近時頻リニ强調セラレツヽアリ特ニ本年四月二十九日ニハ內務大臣ヨリ訓令ヲ發セラレ本縣ニ於テモ去六月五日訓令第二十一號ヲ出シタリ如斯本問題カ社會問題トシテ益々重視セラル、ニ至レルヲ以テ去六月十八日本事業ニ對スル篤志ノ人々二十餘名ニ會合テ需メ融和ニ關スル隔意ナキ意見ヲ徵シタリ然ルニ其席ニ於テ會々融和團組織ノ必要提唱セラレ論議ノ末之カ創立ヲ可決シ即座ニ委員ヲ擧ケ其準備ニ着手セリ其後數回ノ委員會ヲ重ネ本月十日ヲ以テ別紙ノ通趣意書及會則案ヲ決定シ愈々創立總會ヲ開催スル運ニ達セリ。

福岡縣訓令　第二十一號（昭和三年六月五日）

市
町　村　役
役　所
場

明治維新ノ初御誓文ノ宣布アリ次テ四民平等ノ令ヲ發シ給ヒテヨリ星霜茲ニ五十有七年今尙國民間ニ不合理ナル差別事象共ノ跡ヲ絕ツニ至ラサルハ洵ニ聖代ノ恨事ト謂ハサル可カラス

今ヤ昭和ノ盛世ヲ迎ヘ近ク即位ノ大典ヲ行ハセラレムトス是レ正ニ擧國一致更正ヲ策スヘキ秋ナリ乃チ職ニ自治ノ任ニ在ルモノ此際國民融和ノ實現ニ一段ノ努力ヲ加ヘ益々縣治ノ實ヲ擧ケムコトヲ期スヘシ之カ大綱ノ方策ニ關シ多數ナリトスト雖モ左ノ各項ノ如キハ特ニ留意ヲ要スル所ナリ

一、國民ノ自覺ヲ促シ融和觀念ノ徹底ヲ圖ルコト

一、融和ノ障碍タルヘキ事象ハ速ニ之ヲ除去スルコト

一、差別ノ言動ハ厳ニ之ヲ禁サシメサルヲ期スルコト

一、社會生活ニ於テ機會均等ノ實ヲ擧クルコト

念フニ差別ノ事タル條理ニ悖リ人道ニ反ス速ニ之カ芟除ニ努メ國運ノ進展ヲ圖ルコトハ我國民共同ノ責務タリ各位ハ克ク此意ヲ體シ更ニ有効適切ナル施設ヲ講シ共存共榮ノ成果ヲ收ムルニ於テ萬遺憾ナカラムコトヲ望ム

昭和三年六月五日

福岡縣知事　齋藤守圀

創立趣意書

畏クモ　明治天皇ハ天下一人ニテモ其ノ所ヲ得サルモノアレハ是即チ朕カ罪ナリトノ大御心ヲ徵カセラレ御即位元年ニハ五ケ條ノ御誓文ヲ中ニ宣來ノ陋習ヲ破リ天地ノ公道ニ基クヘキ旨ヲ宣明シ給ヒ同四年ニハ四民平等ノ大義ヲ公布シ給ヘリ爾來六十年此間國運ノ發展ニ伴ヒ百事而目ヲ改メ昔日ノ如キ態ヲ留メストイヘトモ獨一部同胞ニ對スル因襲的差別觀念ノ存スルアリテ融和ノ實ヲ擧ケ得サルコトハ人道上ノ一大恨事ニシテ御聖旨ニ對シ奉リテモ洵ニ恐懼ニ堪エサル所ナリ

今ヤ內外ノ情勢ハ國民ノ和衷協同ニヨリ國運ノ進展ヲ期スヘキ時ニシテ徒ニ兄弟墻ニ鬩クヘキ時ニアラス況ンヤ我國ハ蕞ニ平和會議ニ於テ人道上ヨリ人種差別撤廢ヲ提議シタル國ナリ如斯世界ニ對シテ人種平等ヲ絕叫セル國民カ內ニ於テ一部同胞ヲ差別スルカ如キハ實ニ矛盾モ甚シト謂フヘシ

吾人深ク時勢ノ推移ト蕞ニ主基齋田、田植式ノ吉日ヲトシ發セラレタル縣訓令ノ趣旨トニ鑑ミ茲ニ御大典記念事業トシテ『福岡縣親善會』ヲ組織シ、我二百四十萬縣民諸士ノ一致協力ニヨッテ舊來ノ陋習タル差別的偏見ノ打破ニ努メ互ニ相倚リ相扶ケテ共存共榮ノ實ヲ擧ケンコトヲ期ス冀クハ同感有志ノ士吾人ノ微衷ヲ諒トシ寄ツテ本會ノ趣旨ニ贊同セラレ直接間接援助アランコトヲ

福岡縣親善會々則

第一條　本會ハ福岡縣親善會ト稱ス

第二條　本會ノ事務所ハ當分福岡縣廳社會課內ニ置ク

第三條　本會ハ各郡市ニ支部ヲ置クコトヲ得

第四條　本會ハ同胞融和ノ實ヲ擧クルヲ以テ目的トス

第五條　本會ハ前條ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ヲ行フ

一、融和促進上必要ナル調査研究

一、懇談會、講演會、講習會等

一、印刷物ノ刊行

一、融合問題ニ關スル調停

一、其他必要ト認メタル事項

第六條　本會ハ本會ノ趣旨ニ贊同シ本會ニ加入シタルモノヲ以テ會員トス

一、正會員　會費年額五拾錢ヲ醵出スルモノ

一、名譽會員　一時ニ金五拾圓以上ヲ寄附シタルモノ

第七條　本會ニ左ノ役員ヲ置ク

一、會長　一名　理事會ニ於テ之ヲ推薦ス

一、副會長　一名　理事會ニ於テ之ヲ推薦ス

一、常務理事　一名　理事會ニ於テ之ヲ互選ス

一、理事　各郡市一名　總會ニ於テ之ヲ選擧ス

其他　若干名　會長之ヲ囑託ス

第八條　理事ノ任期ハ二ケ年トス但再任ヲ妨クス

任期滿了シタル理事ハ後任者就任ニ至ル迄尙其職務ヲ行フ

第九條　本會役員ノ職務左ノ如シ

一、會長ハ本會ヲ代表シ會務ヲ總理ス

一、副會長ハ會長ヲ代表シ會長事故アルトキハ其職務ヲ代理ス

一、常務理事ハ會長ノ命ヲ承ケ會務ヲ處理シ會長副會長共ニ事故アルトキハ其職務ヲ代理ス

一、理事ハ理事會ヲ組織シ豫算其他重要會務ヲ審議ス

第十條　本會ニ主事書記及講師若干名ヲ置キ會長之ヲ囑託ス

主事書記ハ會長ノ命ヲ承ケ庶務會計ニ從事ス

第十一條　本會ニ顧問若干名ヲ置キ會長之ヲ推薦ス顧問ハ會長ノ諮問ニ答ヘ又ハ意見ヲ開陳スルコトヲ得

第十二條　本會ハ毎年一回總會ヲ開催シ融和促進ニ關スル協議又ハ報告等ヲナス但必要ニ應シテ臨時總會ヲ開催スルコトアルヘシ

第十三條　理事會ハ必要ニヨリ會長之ヲ召集ス

本會ノ經費ハ左ニ掲クルモノヲ以テ支辨ス

一、會員ノ醵金　一、寄附金

一、補助金　一、其他ノ收入

第十四條　本會ノ會計年度ハ毎年四月一日ヨリ始メリ翌年三月三十一日ニ終ル

第十五條　本會ノ豫算ハ年度開始前理事會ノ議決ヲ經テ之ヲ定メ決算ハ理事會ノ承認ヲ經ルモノトス

第十六條　本會則ハ理事三分ノ二以上出席シタル理事會ノ議決ヲ經ルニアラサレハ改廢スルコトヲ得ス

前項ノ改廢ハ理事ノ三分ノ二以上出席スルニアラサレハ之ヲ行フコトヲ得ス